

3年ぶり
ベスト8

全日本

爪痕残した!

第75回全日本大学野球選手権記念大会
6月8日～14日 明治神宮野球場・東京ドーム



中

國學院大	大②(東都大)	9	9	3
横浜商科大	大⑤(神奈川大)	9	0	
日本文理大	大⑬(九州地区大)	6		3
中京大	大②(愛知大)	2		2
東海大九州キャンパス	大⑭(南部九州大)	3	1	
松山大学	大⑬(四国地区大)	2	2	
富士大	大⑰(北東北大)	6		

○数字は出場回数

山

特別賞!

三刀流

近畿	大阪大学	工学部	7
中国	大阪大学	文学部	0
大阪	大阪大学	法学部	1
大	大阪大学	経済学部	9
日	大阪大学	社会学部	2
本	大阪大学	教育学部	3
南	大阪大学	理学部	5
良	大阪大学	医学部	0
周	大阪大学	工学部	7
奈	大阪大学	文学部	2
公	大阪大学	法学部	7
立	大阪大学	経済学部	11
園	大阪大学	社会学部	0
学	大阪大学	教育学部	1
館	大阪大学	理学部	2
武	大阪大学	工学部	1
庫	大阪大学	文学部	0
史	大阪大学	法学部	7
学	大阪大学	経済学部	9
塾	大阪大学	社会学部	1
塾	大阪大学	教育学部	7
院	大阪大学	理学部	3
天	大阪大学	工学部	2
花	大阪大学	文学部	4
共	大阪大学	法学部	1
北	大阪大学	経済学部	6
九	大阪大学	社会学部	3
州	大阪大学	教育学部	5
立	大阪大学	理学部	0
学	大阪大学	工学部	9
園	大阪大学	文学部	0
海	大阪大学	法学部	9
学	大阪大学	経済学部	0
商	大阪大学	社会学部	3
科	大阪大学	教育学部	2
理	大阪大学	理学部	3
京	大阪大学	工学部	2
大	大阪大学	文学部	1
東	大阪大学	法学部	2
海	大阪大学	経済学部	2
大	大阪大学	社会学部	6
九	大阪大学	教育学部	2
州	大阪大学	理学部	2
立	大阪大学	工学部	2
学	大阪大学	文学部	2
園	大阪大学	法学部	2
海	大阪大学	経済学部	2
学	大阪大学	社会学部	2
商	大阪大学	教育学部	2
科	大阪大学	理学部	2

○数字は出題回数

と打席でチームを舞い続けた中山は「力で投げたが力なかった」と涙を流した。7回を投げ抜き、全3試合で11打数、安打の奮闘を見せ、中山には、その活が認められ特別賞授与された。

秋再挑戦

今大会で、大商のポテンシャルのさは全国に証明された。大逆転の歓喜も、コールド負けの屈も、全てはチーム財産となる。大商初の女性主務としてベンチに入った杉

日時:令和8年10月11日(日)
9:00大学出発
場所:わかさスタジアム京都
無料送迎バスあり、入場券支給、
大商大応援グッズプレゼント！

の、7回、8回で大量失点を喫し、2—9で8回コールド負け。またしてもベスト8の壁に阻まれたが、大商大スタンドからは、劳いの拍手が惜しみなく送られた。

試合後、マウンド（公共3・鹿島学園文／木村龍馬

秋再挑戰

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校

全国大学選抜

男子団体

ベスト8



前進あるのみ

日本拳法部

西日本学生拳法選手権大会でなんと1部残留を決め、横浜武道館で行われた日本拳法全国大学選抜選手権大会に出場を果たした大商大。

初戦の立教大戦では4-1で快勝。続く2回戦では国士館大と対戦した。先鋒が敗れたものの次鋒戦では、西日本学生拳法個人選手権大会初段の部で準優勝に輝いた新星・蓮琉空(公共1・国士館)が堂々の勝利を挙げ、流れを一気に引き寄せた。勢いづいた大商

大は中堅と大将が勝利し、3-2で準々決勝へ駒を進めた。準々決勝の相手は因縁の関西学院大。先鋒の石倉優斗(経済4・大阪)が接戦を制して渾身の1勝をもぎ取るも、次鋒は惜敗。1勝1敗で迎えた中堅戦には、嶋章伍(公共4・桜丘)が満を持して登場した。主将同士の意地を懸けた一戦で、嶋は死力を尽くして攻め続けたが敗北を喫す。副将も敗れ、準々決勝敗退が決まった。それでも大将戦では由井康誉(公共1・大阪商業大学堺)が(公共3・鹿島学園)

大商大学生支援課体育館事務室が公式Instagram始めました!

公式戦の熱い瞬間やクラブ生の活躍、学内での活動をどんどん発信していきます!リアルタイムで盛り上がりをお届けしますので、ぜひフォローしてください!

Xもバンバン更新中!!
こちらもあわせて
フォローお願いします!



@oucsportscenter



@CLUB_DAISHODAI

日本拳法第39回全国大学選抜選手権大会	
6月21日 横浜武道館アリーナ	
「第29回西日本学生拳法選手権大会」	
男子1部	予選リーグ敗退
男子1部	残留トーナメント勝利
「第26回西日本学生拳法個人選手権大会」	
男子参段以上の部	
ベスト8	嶋 章伍(公共4・桜丘)
男子初段の部	
ベスト16	高橋 朋稀(公共1・飛鳥)
男子初段の部	
優勝	水杉 利一(公共3・津山工業)
準優勝	蓮 琉空(公共1・国士館)
「日本拳法第39回全国大学選抜選手権大会」	
男子の部	ベスト8

西日本学生個人初段の部

準V連



第26回西日本学生拳法個人選手権大会
5月24日 吹田市立武道館(洗心館)

準硬式野球部

リーグ優勝から遠ざかっていた大商大が、阪神六大学準硬式野球春季リーグ戦で雪辱。5勝2敗1分で3季ぶり71回目の優勝をつかんだ。

優勝を決めた大阪公立大戦では、1回裏に3点を先制される苦しい立ち上がり。しかし、6回表に1点を返し、藤中拓哉(経済3・広島工業大学)の三塁打で同点に追いついた。さらに8回、9回に加点し、6-3で逆転勝利。初戦を除く白星は全て逆転勝ちで、試合を重ねるごとにチームの結束力が高まった。主務代理の浅野恵太(商3・滝川西)は「ここで決めたい」というところで優勝

できたので、本当にうれしかった」と喜びを語った。4勝で最多勝利投手と最優秀選手に輝いた三宅旺祐(公共3・星槎国際)は「先発として強みのタフさを生かして勝ち切れたことが良かった」と手応えを口にした。また、7盗塁した高島秀成(経営3・高田商業)が最多盗塁に、藤中がベストナイン指名打者に選出された。

その後、大商大は関西地区の春季リーグ戦優勝校らが全国への切符を懸けて争う関西地区大学準硬式野球選手権大会へ挑んだが、同志社大に力負けして初戦敗退。二次トーナメントに回ったものの、ここでも敗れ、全国には届かなかった。浅野は「リーグ優勝で満足していない。チーム全体で、来年こそは全国大会に出場したい」と前を向いた。

文/木村龍馬
(公共3・鹿島学園)



大阪商業大学
体育会本部
@Taiikukaihonbu



大阪商業大学
体育会本部
@TAIIKUKAIHONBU



三宅

雪辱果たす

春季リーグ戦 3季ぶり71回目

藤中

高島

「阪神六大学準硬式野球春季リーグ戦」	
優勝(3季ぶり71回目)(5勝2敗1分)	
最優秀選手	三宅 旺祐(公共3・星槎国際)
最多勝利投手	三宅 旺祐(公共3・星槎国際)
最多盗塁	高島 秀成(経営3・高田商業)
ベストナイン(指名打者)	藤中 拓哉(経済3・広島工業大学)

「第78回関西地区大学準硬式野球選手権大会」
1回戦敗退

「関西地区大学準硬式野球二次トーナメント大会」
1回戦敗退
清瀬杯第3代表決定戦敗退

阪神六大学準硬式野球春季リーグ戦
3月6日~4月11日 久宝寺緑地野球場他

我楽多

▼今期、広報部長としてさまざまな部活動取材し、全国大会の撮影にも足を運んだ。そこで選手たちが日頃の努力の成果を発揮する姿や、劣勢の状況でも諦めずに立ち向かう姿に感銘を受けた。その素晴らしい瞬間を逃さず記録し、伝えたいと感じた。これからは各部をサポーターしてあげるよう尽力したい。(木村)

▼試合中、選手の真剣な表情や一瞬で決まる技を逃さぬよう夢中でシャッターを切った。競技ごとに動きや迫力が異なり、撮影の難しさを感じる場面もあったが、その分うまく撮れたときの達成感は大変だった。紙面で試合の熱気を伝えられるよう今後も経験を重ねていきたい。(石田)

▼これまで多くの選手の真剣な眼差しを撮影してきた。その中でルールを知らない競技にも自然と惹かれるようになった。スポーツには勝敗だけでなく、選手一人一人の物語や魅力がある。そうした熱い想いや競技の魅力を発信できるように、精進していこうと思う。(中島)

▼応援に行くとき、会場の熱気や緊張感を肌で感じる。選手たちが全力でぶつかり合い、最後まで諦めず闘い合う姿を見ると、自分も自然と応援に力が入り、心が熱くなる。広報部として、大商大スポーツの魅力や選手の頑張りを伝えていきたい。(沼田)

▼今回バレーボール部の撮影・取材を担当し、一つのボールを全力でつなぐ姿や、選手同士や応援の声掛けによって試合の流れが変わる瞬間を間近で見て、バレーボールの面白さを改めて感じた。これから会場で感じた迫力や熱気を、新聞を通して届けたい。(伊田)

大商大スポーツ

発行 大阪商業大学
学生支援課 体育館事務室
印刷 共同精版印刷株式会社